

「海の光」
入二小5年
アンドレス
ズビーバー
さんの作品
(水彩画)



出張所からのお知らせ
新井宿地区まちあるきマップ発行!

★いにしえから魅力あふれる
新井宿まちあるきマップとは?

新井宿 中央コース おススメのまちあるき紹介!
新井宿「中央」のおススメの散策コースを紹介しています。中央コースは平坦地で、コース内には医療・福祉・文化の公共施設が多く盛り込まれています。

新井宿 山王コース おススメのまちあるき紹介!
新井宿「山王」のおススメの散策コースを紹介しています。山王コースはなだらかな台地で、コース内には歴史的なスポットが多く盛り込まれています。



表紙

マップを片手にまちあるきを楽しむことができる「おススメの散策コース」、「医療・福祉・文化のまち新井宿の充実した各種の公共施設の紹介」、「地元の人がおススメする休憩スポット」など、写真やイラストで分かりやすく伝えていきます。



裏表紙

【大田区新井宿特別出張所 2019年3月発行】
■編集協力:新井宿自治会連合会
新井宿地区まちあるきマップ制作委員会
■マップ制作:NPO法人大森まちづくりカフェ

★どこでもらえるの?

新井宿特別出張所の観光情報コーナーで配布中!

■観光情報コーナー開設時間
月～金 8:30～21:00
土日祝日 9:00～21:00(年末年始除く)



保存版 佐伯山緑地お散歩マップ

佐伯山緑地が全面開園します。この公園には、桜・椿・菜の花など四季折々の草花が咲き乱れ、訪れる人の目を楽しませてくれます。海拔21mの「見晴し広場」からは、新井宿エリアが一望でき、時折、遠く東の空に羽田空港から離陸する飛行機が見えることもあります。

今号の1面でご紹介しました「まちあるきマップ」を片手に訪れてみてはいかがでしょうか。龍子記念館のほど近くにありますので、記念館ご利用の際には、どうぞ足をお運びください。



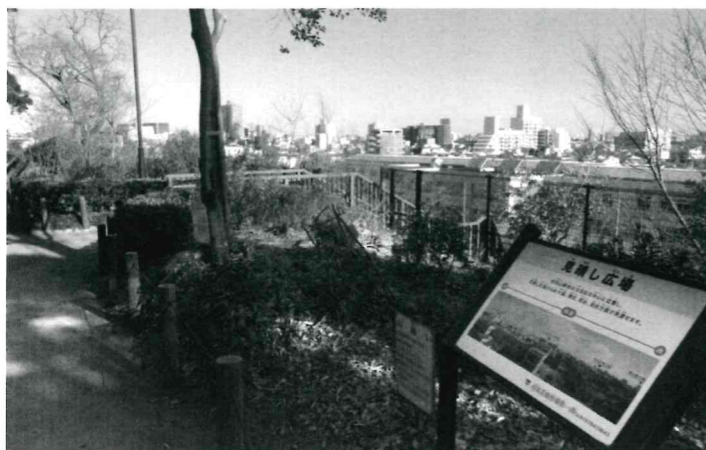
【佐伯山から見た平成最後の初日の出】
(撮影：中央四丁目町会 野口宏さん)



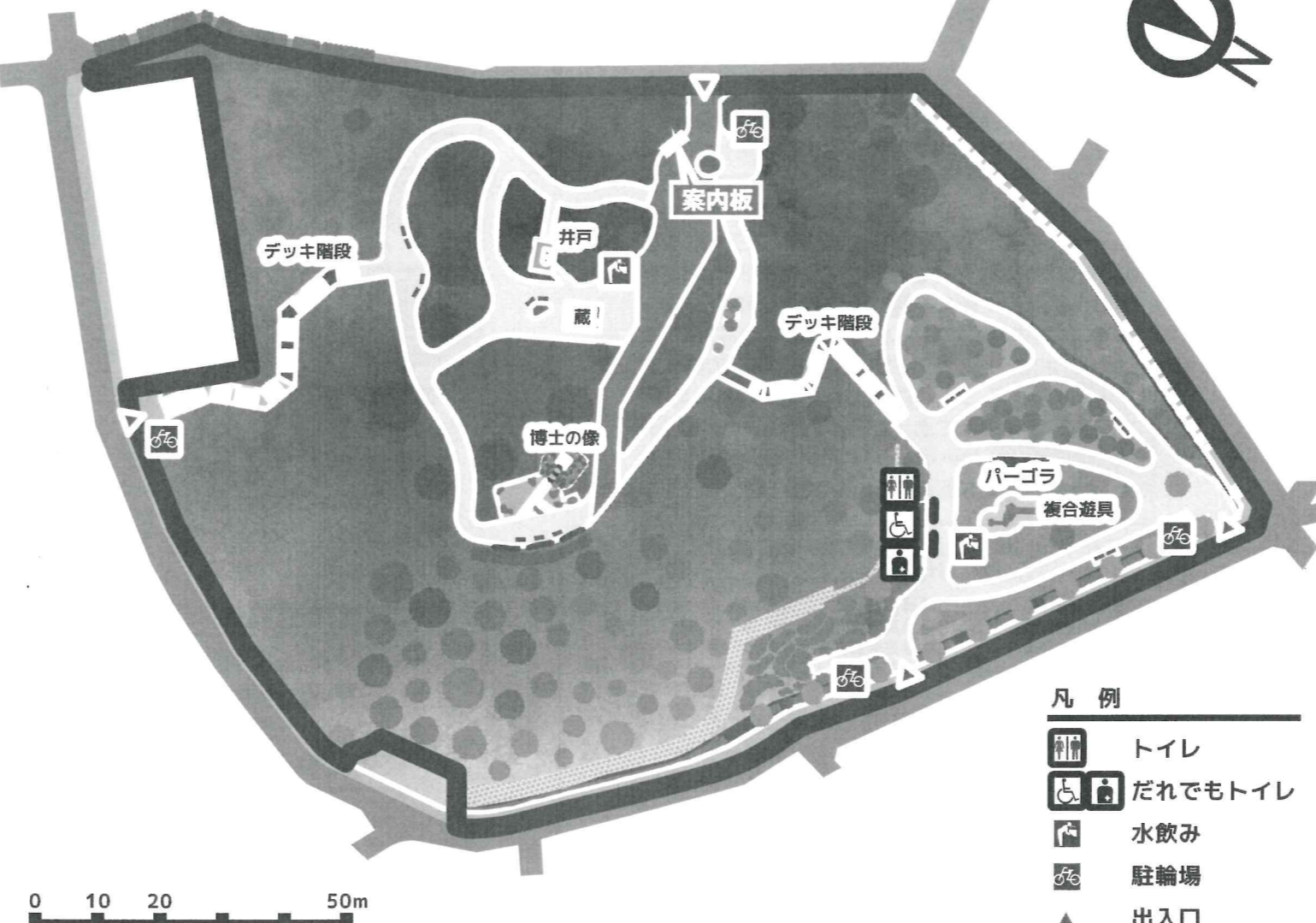
【佐伯山緑地 案内地図】
(まちあるきマップより一部転載)



「見晴し広場」案内板



「見晴し広場」から大森方面を望む



- 凡例
- トイレ
 - だれでもトイレ
 - 水飲み
 - 駐輪場
 - 出入口



【佐伯 矩 博士胸像】
(1876-1959)

学校は昭和15年に東京都港区から佐伯山に移転し、さらに平成27年に蒲田(大田区役所の近く)に移転して現在に至る。

佐伯 矩 博士胸像 解説版

佐伯 矩 博士胸像について
この像は、栄養学の創始者、栄養学の父であり、世界で初めての栄養学校(現在の佐伯栄養専門学校)を創立した、佐伯 矩(さいきただす)博士です。
博士は、医学から栄養学を独立させ、栄養研究所、栄養士制度を発展させました。
佐伯山緑地は、通称「佐伯山」と呼ばれ、元の所有者である佐伯氏により、貴重な緑の森が守られてきました。
平成十二年大田区は、西側の約三千㎡の土地を佐伯氏より公園用地として寄付を受けました。平成二十年には、胸像の寄贈を受けました。

平成二十五年一月 大田区

佐伯 矩 博士略歴
医学博士 ドクター・オブ・フィロソフィー 佐伯 矩 先生
大正 九年 国立栄養研究所初代所長
大正十三年 佐伯栄養学校創設(栄養士誕生)
昭和 二年 国際連盟初回交換教授(医学者・医師への講義)
昭和 九年 日本栄養学会創始(日本医学会13分科)
以上は世界最初に誕生したものです。

主な佐伯山緑地の設備について

1. かまどベンチ
災害時に、「かまど」として使用できるベンチ。
2. 複合遊具
3. パーゴラ
つたやふじなどのつる植物をからますためにつくられた、棚形あるいはトンネル形の建築物。
4. 水飲み場
5. トイレ(だれでもトイレ)
6. ベンチ(一般的なもの)
7. 駐輪場
8. 倉庫(白壁の蔵)
9. 「災害用 井戸」
佐伯山の上にあった古井戸を再利用したもので災害時に使用可能。
10. 「見晴し広場」案内板(2面参照)
11. 「緑地の修復」案内板

以上の設備を見ると、佐伯山緑地は単なる公園ではなく、現在、大田区が整備を進めている地域防災活動の拠点としての意味合いを持つ「防災公園」のひとつとも言えます。

この緑地は草木や花、自然とともに安らぎを感じる都会のオアシスとしての役割を持ちながら、災害時には、地域住民の頼もしい味方になってくれる公園なのです。

是非、大切に利用したいものです。

受賞おめでとうございます

防災市民組織等感謝状贈呈

◇市民消防隊員 30年以上
栗原 正明

◇市民消防隊員 20年以上

大塚由紀子 福原 美子 寺内 宣親 寺田マチコ
中里 容子 川面まさ子 高橋 隆子

◇市民消防隊員 10年以上

岡田 好司 小柴 英二 吉田 和生 菅原 博

大田区区政功労者表彰

◇民生・児童委員(10年以上)

奥田 和子 山口 美由紀 和田 芳明

◇自治会・町会(10年以上)

太田 義久 染野 春夫 中屋 錦江

◇青少年委員(10年以上)

廣瀬 晴美

東京都赤十字奉仕団功労者表彰

◇銀色有功章(15年以上)

鈴木 英明 岩澤 進吾 平林 宏一 大塚由紀子
山崎 晴久 福原 美子

◇金柁支部長感謝状(10年以上)

鈴木 尚子 吉田 和生 三沢清太郎 渡辺千壽子
湯浅美代子

◇銀柁支部長感謝状(5年以上)

宏林 静憲 谷村 啓 間宮 千恵 若山 紘
須賀美智子 小松 榮子 小林 久江 福田 スミ
本間 恵美 高柳 美香 (敬称略)

前回12月1日号に掲載の「東京都赤十字奉仕団功労者表彰」に漏れがありましたので、お詫びするとともに、再度掲載をさせていただきます。

パワーアップして本年3月24日にグランドオープン!!

(障がい者総合サポートセンター(さぼーとびあ))
「さぼーとびあ」は、障がい者の方の生活サポートの拠点として平成27年3月にオープンしました。日頃より新井宿地区の皆様には、「さぼーとびあ」事業にご協力をいただきましてありがとうございます。増築工事期間中は近隣の皆様には大変ご不便とご迷惑をおかけしましたが、おかげ様で無事に完成しました。新棟(B棟)では、区立としては23区初となる医療的ケアを含む重症心身障がい児(者)の方などを対象とした短期入所事業と学齢期の発達障がい児支援事業を始めました。「さぼーとびあ」は、これからも新井宿地区の皆様と共に歩んでまいりますのでよろしくお願いたします。

熊野神社の手水舎を再建しました

手水舎(てみずや)は、神社にお参りする前に手をすすぎ清める、水のたまった手水鉢の有るところです。熊野神社には表参道(階段50段の男坂)中段にあり、屋根が付いています。ところが昨年9月末、台風24号の強風で屋根が壊れてしまいました。知恵を凝らした結果、今上陛下御即位30年と御代替りの年ということもあり、記念事業の位置付けとすることで、皆様のご奉納を募り賄うことで、正月初詣を控えた年末に再建する事が出来ました。



再建された手水舎

避難所ってどんなところ?

2月17日(日)に新井宿自治会連合会主催で「新井宿ちいき防災セミナー『女性・子どもにやさしい避難所を考える』」を実施しました。大勢の方にご参加いただき、「避難所の実態」や「こうしたらもっと生活しやすくなるのでは」などを共有しました。大変勉強になったというお声をたくさんいただきました。



カレーなる餅つき大会

(新井宿七丁目町会)

2月17日(日)にセブンパーク公園で餅つき大会を行いました。お雑煮・きなこ・あんこに加え、お餅にカレーをかけた「カレー餅」が子どもや若者に大人気でした! 来年のもちつき大会はカレー餅を是非ご賞味ください。

編集後記

平成最後の地域情報紙をお届けします。

1面では新井宿地区のまちあるきマップを取り上げ、2~3面には佐伯山緑地の全面開園に合わせてお散歩マップを掲載しました。この緑地の近くに平成16年に宅地造成の際、発見され

た遺跡があり奈良時代以前に既に人が住んでいたと考えられます。古代の人々も武蔵野台地の突端に位置する佐伯山から東京湾に広がる遠浅の海を眺めて暮らしていたかもしれないと思うと悠久のロマンを感じます。

(若生編集委員)

あらいじゅく多文化共生防災セミナー

山王三丁目町会の中にある「興和日本語学院」が町会員になりました。学校ができてたくさんの外国の青年たちが通学しています。この子たちは大きな地震の体験も台風やTsunamiもほとんど知りません。このようなことに直面した時パニックに陥ることも考えられます。大田区は若い外国人学生に災害への対策や心構えを教えるため、2月26日(火)に実施しました。山王三丁目町会はアルファ



化米の炊き出しや避難所の開設について説明をして交流しました。町会にとっても、災害時には若者のパワーは大切です。協力し合えることを期待しています。

発行 地域力推進新井宿地区委員会
編集 「わがまち新井宿」編集委員会

中央四丁目町会	編集委員長	若生 一 順
山王三丁目東自治会	副編集委員長	荒木 秀 樹
山王三丁目町会	副編集委員長	吉川 信 一
山王三・四丁目自治会	編集委員	三沢清太郎
中央一丁目町会	編集委員	形見 俊 郎
中央一丁目町会	編集委員	関口 直 人
新井宿五丁目町会	編集委員	加藤 弘 子
新井宿六丁目町会	編集委員	雉本まり子
新井宿六丁目町会	編集委員	松原美枝子
新井宿七丁目町会	編集委員	福田 ス ミ

……共同編集……

監修 新井宿自治会連合会

事務局 大田区新井宿特別出張所

大田区中央1-21-6 ☎3776-5391

<http://www.city.ota.tokyo.jp/omori/index.html>